



サクセッションに先立って開かれた高島地域の交流会。サクセッション企画を知らせるチラシを手にする参加者

商売・調査対策など交流

滋賀・大津高島民商青年部 多彩にプレ企画を開催

滋賀・大津高島民主商工会(民商)青年部は「民商サクセッション企画」の成功に向け、プレ企画として学習会や交流会を開催。業者青年のつながりを強めています。

高島地域では10月10

魅力ある民商を次世代

サクセッション企画

日、若手商売交流会を開き、5人が参加しました。事業承継した2代目が多く、先代との経営方針や仕事の食い違いなどの悩みも出されました。燃系の事業を継いだ参加者からは「業界としては下火になつてきているが、独自に商品を開発しよう」と考え、9月に行われた県の商工業研究集会で知った小規模企業向けの補助金を申請して機械を導入予定」という前向きな報告が。これから補助金にチャレンジする人にレクチャ



大津地域で開かれた学習交流会では税務調査について学びました

「してほしい」と要望が出されました。大津地域では9月15日に、税務調査対策・融資制度の学習会を開催し、マッサージ、左官業などの部員が参加しました。

池端耕治会長が「税務署から電話がかかってきたらまずどうするか」と切り出し、「税務調査では『自分は民商会員や』と示す。絶対損にならないで」と強調しました。また、制度融資について、セーフティネット融資と県独自の緊急経済対策資金の概要を学びました。

参加者からは「税務調査についてイメージが持てた」「制度融資は銀行融資よりも条件がよいので覚えておきたい」と好評でした。今回の企画は、11月5日のサクセッション企画を成功させるため、「各民商で本番までに一度集まろう」と県青協で決めたもの。当日は琵琶湖を周遊する「ミシガンクルーズ」を楽しみつつ、交流を深める予定です。